

松本大学と地域をつなぐ情報誌

# ゆめ通信

Vol.18  
2011.1.28 (fri)

—学生プロジェクト活動紹介—

—ゆめALBUM紹介—

—21世紀を生き抜く新経営塾—

—ゆめひろば通信—

—学生ゆめ—

—Information—



学校法人松本大学  
松本大学

“ゆめ”の由来…結芽『ニーズの芽を結ぶ場所』+夢+遊眼『遊び心の視点を持つ眼』  
地域づくり考房『ゆめ』は、大学で学んだ知識や技術を学生が地域づくりの中で実践的に生かしていくことを目指しています。



# 学生プロジェクト活動紹介

学生が自らの目線で、実際に企画した活動や参加している活動を紹介します。学生が活動によって得た新しい発見や学びとは…。また、それを今後どう生かしていこうと考えているのでしょうか。

## 上高地線沿線ウォーキング準備会

今回のイベントは、上高地線沿線の見所を載せた沿線マップを作ろう！ということで、マップに載せるお店や景色などの見所を、ウォーキングをしながら1日目は松本駅から新村駅、2日目は新村駅から新島々駅まで探しにいきました。

1日目は7名、2日目は10名ほどの方が参加してくださり、一緒に歩きました。参加してくださった方の中には地図に記された道以外のおススメの道を紹介して下さったり、先頭をきって歩いてくれる方など、とても頼もしい方が多くいて助けられる場面もしばしばありました。

お店などの見所もいろいろ発見できましたが、なにより紅葉した山などの景色がとても綺麗でした。また、2日目に歩いた下島駅から新島々駅間の風景やのどかな雰囲気がとてもよかったです。

今後は、今回行った沿線ウォーキングで見つけた見所を載せた沿線マップを作成し、そのマップを元にウォーキング大会を開催する予定です。詳細についてはまだ思案中ですが、多くの見所を探ることができたので、面白いウォーキング大会を開催できると思います。

私たち上高地線応援隊は、ウォーキング大会以外にも新たな活動をしていこうと考えています。

そして、その活動の中で地域の方たちと一緒に沿線地域を活性化することができればと思っています。

松商短期大学部 2年 櫻井 千佳



湊東駅・新島々駅間の道



波田総合病院の裏手



波田総合病院の裏手



## よいまちクラブでお年寄りとコミュニケーション ～歌とお茶で楽しく笑顔に～



こんにちは！私たちは「よいまちクラブ」といい、松本全域のお年寄りに歌って笑って元気になってもらおう！と上土通りの「ふれあいホール」を拠点として、月に1度活動をしています。先生の優しく面白い指導のもとで、みんなで童謡を楽しく歌っています。

私は、よいまちクラブのメンバーとして昨年の7月から活動をしています。活動先とした理由は、歌が好きでお年寄りも好きで、若者の元気を伝えられたらいいな！と思ったからです。実際に活動してみると、おばあちゃん達の元気のよさに驚き、毎回元気をもらっています。みなさんお化粧やおしゃれをしてきて、歌う時はとってもいい声を聴かせてくれます。私は知らない童謡が多いのですが、みなさんの「懐かしい」や「いい歌よね」という言葉を聞くと微笑ましく思いますし、新しい歌の発見ができて楽しいです。おしゃべりタイムの時は、人生の先輩からの話になる話を聞いたり、価値観や感じ方の違いなどの話題で楽しんでいます。普段自分のおばあちゃんが私のとった行動に、こんなことを思っていたのかな…と振り返ることもできました。おばあちゃん、おじいちゃんに優しくしようと改めて実感しています。活動を通して、お年寄りの目線になって会話をする力を身につけることができたと思います。

これからは、学生が企画してお年寄りと一緒に楽しくできるレクレーションができればいいなと思っています。今、学生の人数が少なく学生が参加できない月があるので、メンバーを募集しています！お年寄りとのコミュニケーションを楽しみ、笑顔になれるレクレーションを一緒に考えませんか？

松商短期大学部 1年 富所 ちな美





# あしなが育英会に参加して



あしなが育英会が主催する「あしなが学生募金」が10月23・24・30・31日に松本駅前と長野駅前、「あしながPウォーク10」が11月14日に松本市内で行われました。

あしなが育英会とは病気や災害、自殺で親を亡くした子ども達や、親が重度の後遺障害で働けない家庭の子ども達(このような子ども達を遺児と言います)に奨学金を貸しだし、物心両面で支える民間非営利団体です。

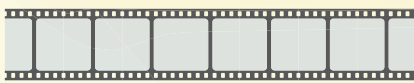
あしなが学生募金は全国で春と秋に行われ、長野県でも多くのご寄附を頂きました。この募金によってより多くの遺児達に奨学金を貸し出すことができます。経済的に厳しく進学の夢を諦めてしまうような遺児達は、この奨学金をととても必要としています。募金活動には誰でも参加できます。また4月に行われるので、良かったら参加してみてください。



あしながPウォーク10は全国で秋に行われるウォーキングイベントで、歩いたり、途中の3つのレクレーションを通して海外の遺児達の現状を知ってもらうものです。秋の風を受けながら歩くのは、とても気持ち良かったです。このイベントも誰でも参加できます。ぜひ一緒に歩きましょう。多くの遺児達の為に協力よろしくお願いします！！

健康栄養学科2年 飯沼 奈緒美

## 学生プロジェクトの活動風景を紹介する



### ゆめALBUM

登場!



「ゆめ ALBUM」とは、ゆめ撮影隊が、地域と学生とが一緒に活動している、『ゆめ』の様々なプロジェクトの様子を収めた写真を主体的に活用していきたいと考えて企画したものです。

地域づくり考房『ゆめ』の前にホワイトボードを設置し、写真を貼り、活動名を書いて紹介しています。月に1度、展示替えを行ない、その都度季節に合わせた飾り付けや、レイアウトを変化させることで、廊下を歩く人の目にもとまりやすいように工夫しています。最近では、考房『ゆめ』

に用事がある人、ない人に問わず立ち止まって見てくれる人が増えてきているので手ごたえを感じています。

今後は、「ゆめ ALBUM」に、各プロジェクトの代表の人などにも、一言コメントをもらって書くなどの工夫や、装飾とレイアウトをより変化をつけ、展示が変わったことを一目で分るようにしたいと考えています。また、月ごとの展示を見逃した人にも、前の展示がわかるように、「ゆめ ALBUM」を縮小したような冊子を考房『ゆめ』に置くことも今後できればやっていきたいなと思っています。

この「ゆめ ALBUM」を通して、考房『ゆめ』で行われている従来の活動や新しい活動のイメージをつかんでいただき、少しでも興味を持っていただけたら気軽に考房『ゆめ』に立ち寄って、活動に参加していただくと嬉しいです。



総合経営学科3年 宮原 利政



なぜお客様に圧倒的に支持されているのか？

## 「21世紀を生き抜く新経営塾」開催

9月25日（土）と10月23日（土）の2回にわたり開催された「21世紀を生き抜く新経営塾」には、学生、企業経営者、NPO関連の方など、延60名が受講しました。本格的な成熟社会に入り、生活者の「望み」は益々複雑かつ高度化しています。そうした中で、ユーザーに「そうそう、こういうのが欲しかったの！」と言われる商品、サービスを開発するにはどうすればいいのか？また逆風の中で経営していくためにリーダーが心得なければならない事とは？

本講座では、NPO、ビジネスで圧倒的な成果を上げている経営者を招き、その要諦を学びました。

### 第1講



メイン講師  
株式会社ヒューマンフォーラム  
代表取締役 出路 雅明氏



特別講師  
NPO法人アジアチャイルドサポート  
代表理事 池間 哲郎氏

### その情熱はどこから生まれるのか？

第1講では、経営の根幹に関わる“情熱”について学びました。出路雅明講師から、経営者の情熱こそが、お客様や仲間を巻き込み、事業を繁栄させる要であること、そして、情熱あふれる経営者は、義務や責任感からではなく好きなことを本気でやっていることなどが語られました。

ゲスト講師の池間哲郎氏からは、自身が経営する「NPO法人アジアチャイルドサポート」の活動紹介から、自身の事業に対する思いが熱く語られました。第1講の要点は、リーダー自らが本気で楽しみ情熱を持って取り組む事が繁栄に不可欠な要件であるということです。

受講者からは「涙が止まらなかった」「自分の生き方を変えたいと思った」といった感想が数多く寄せられました。



### 参加者の声

池間先生の講演では、活動の様子と、貧困国の現状をお話下さいました。まだ幼い子どもたちが仕事をしなければいけない国々での教育普及活動は大変なことではあるようですが、子どもたちの学校へ通いたいという強い願いが活動により次々と叶えられていることに、将来、教育に携わりたいと思っている私は、涙がこぼれるほど嬉しく思いました。

日本の教育には厳しさが必要だと先生はおっしゃいました。私は、これからの大学生活、いろいろな厳しさを学んで行こうと感じました。

観光ホスピタリティ学科1年 和田 明日香

### 第2講



メイン講師  
株式会社ヒューマンフォーラム  
代表取締役 出路 雅明氏



特別講師  
株式会社菓匠Shimizu  
“専夢”取締役 清水 慎一氏

### お客様が本当に欲しいものを勘違いしてませんか…？

第2講では、「価値創造」について学びました。価値があるかないかを決めるのは、いつの時代もお客様です。価値は机上で考えていても答えは出ません。実際に試してみるのが最善の方法であり、駄目なら改善をすればいいのです。また、価値創造には戦略発想も求められます。目先の仕事に追われがちですが、数年先に開花するであろう仕事を今から準備していく必要があるのです。そして、1人では限界がある事も、コラボレートすることで計り知れない力を生み出します。そのためには、異質な者を受け入れる精神的な成熟が求められます。

特別講師の清水慎一氏からは、自身の事業で、どのように価値創造を行ってきたかを解説いただきました。ケーキ屋が売っているのは、実はケーキのように思えてケーキではありません。家族の団欒や夢を売っているのです。こうした思いを形にしようと、地域の子どもたちに将来の夢を描いてもらい、それをケーキにして無料で差し上げるイベント「夢ケーキの日」を毎年行っています。感動のエピソード満載の講義でした。



### 参加者の声

第2回のみ受講でしたが、大変勉強になりました。清水さんにはお店を経営するにあたって、気持ちや夢がどんなに大切かという話を伺いました。『菓匠shimizu』は私にも馴染み深いお店です。普段どんな考えでお客様や従業員の方と接しているのか、次にお店でどんなことを計画しているのか、お話を聞いているだけでわくわくどきどき、最後に感動。

出路さんのお話では、経営の実践的なお話をお伺いしました。もちろん気持ちの面の大切さも。なるほど、と思わず感嘆。学校の講義で勉強するのはまた違う経営を学ぶことが出来て良かったです。最後に感動。

松商短期大学部2年 岩垂 朋美

# 松本大学ゆめひろば

後期に入り、ゆめひろばでは、多くのプロジェクトが活動しました。こどもあそび隊によるこども広場、ゆうゆうの会による絵画展、Signによる”聞こえないって何だろう” …etc そして、一步一步、成長を感じる活動や、初めての活動で感じた事など、いくつかの活動を紹介します。

## 《こどもあそび隊》

こんにちは。私たちこどもあそび隊は、親子・親同士のコミュニケーションづくりの場としてこども広場を2カ月に1回のペースで開催しています。

12月18日にクリスマスにちなんだイベントを開催しました。宝さがしや玉入れゲームなど全員でたのしめるようにと企画しました。子どもたちもたのしんでくれましたし、親御さんたちからも「とても楽しい」という声をいただきました。これからも、全員で楽しめるイベントを考えていき、参加者の方同士仲良くなれたらいいなと思っています♥

観光ホスピタリティ学科3年 塩原 ひかり



## 《子ども見守り隊と松本警察署》

12月10日～26日の間にゆめひろばにて「子ども見守り隊&松本警察署展示会」を行ないました。今回の展示会で私たちの活動を地域の方々にPRできてよかったと思っています。また、歳末防犯月間に合わせ展示会を行えたので、地域の方の防犯への意識がより高まったのではないかと思います。

今後は私たちの活動を後輩へとしっかり引き継ぎ、子ども達を優しく見守るお兄さん、お姉さんとして地域で活躍していければいいなと思います。応援よろしくお願いします！

観光ホスピタリティ学科4年 中田 大佑



## 《ゆうゆうの会》

11月7日～14日までの一週間、「ゆうゆうの会絵画展」をゆめひろばで開催しました。短い間でしたが、約100人という多くの方に足を運んでもらうことができ、とても嬉しく思っています。初めてのことはばかりで不安でしたが、今回の作品展をみんなで協力して作りあげた事により、知らない一面を見れたり、絆が深まったりして「何かをつくりあげるって良いな」と思いました。ゆうゆうの会は、障がい者も性別も年齢も関係なく、みんなが楽しめるとてもいい会です。

作品展に協力してくださった考房『ゆめ』の先生方、カタクラモールの方、そして足を運んでくださった皆さま、ありがとうございました！

今後は、作品展を通して学んだ事をいかしながら、さらに活動を増やしてみんなが充実した余暇活動をおくれるような楽しい企画をつくりあげていこうと思います。

松商短期大学部1年 原 婦美恵



## 《お問い合わせ先》

松本大学ゆめひろば（カタクラモール南口）  
〒390-0811 長野県松本市中央4-9-43  
TEL：0263-37-7210 FAX：0263-34-7224

E-MAIL：yume\_work\_station@yahoo.co.jp  
開館時間：午前10：00～午後7：00  
休館日：毎週月曜日



# 学生ゆめ

最近一気に寒くなりましたね。おかげで、見事に風邪を引いた私です。

さて、11月の話になりますが、私は、新村公民館で行われた新村文化祭で「地域社会活動」の実践報告をさせていただきました。他にも3組の松大生が活動の成果を発表し、地域の方にも活動の成果を見てもらうことができ、とてもよい経験になりました。

今回、裏方の仕事にも携わせていただいたのですが、やはり新村の皆さんはすごく温かい人たちがかりでした。地域のつながりって、本当に良いものですね。

まだまだ寒い日が続きますが、皆さん風邪やインフルエンザには十分気をつけてくださいね！では！（下坂）

## パソコン文字通訳要約筆記講座



要約筆記とは耳が不自由な方への情報保障手段の一つです。話している内容を要約し、文字で伝えます。パソコン要約筆記の他にも私たちが良く耳にする言葉には、筆談やノートテイクなどがあります。毎週木曜日、2限に行われているパソコン文字通訳要約筆記講座にお邪魔しました。

講師はNPO法人長野サマライズセンターの清水恵さん、人工内耳センター利用者親の会の高橋りえさんです。

この日参加していた学生は4人。二人ペアになって一人一台ノートパソコンを使い、真剣に講師のお話に耳を傾けていました。パソコンの画面を覗いてみると何やら難しそうな画面。正面のスクリーンにも同じ画面が映し出されています。この画面が映しているのはパソコン要約筆記に必要な『IPtalk』というソフトウェア。製作者の方が無料で配布しているソフトだそうです。

この日は「前ロール」について。前ロールとは事前に用意された原稿を、話す人のタイミングに合わせて表示すること。私たちにも、字幕映画などで馴染み深いですね。一通り説明が終わった後は実習。高橋さんの読む「わらぐつの神様」に合わせて文章を表示していきます。話すスピードに合わせて文章を表示するのはタイミングを取るのが難しかったです。

スクリーンで再生される動画を実際に要約筆記していきます。難しいのは話していることをそのまま伝えるというわけではなく、まさに『要約』しなければならないこと。キーボードを叩き、画面に出すタイミングを取るのも非常に難しい。実習を行っている学生はまさに真剣そのもの。要約筆記の勉強は本当に大変だと思いますが、耳が不自由な方の助けになれるのは素敵なことですね。講義の後半は現地での実習も行われます。（岩垂）

## 新鮮☆ゆめ市場

新鮮☆ゆめ市場について観光ホスピタリティ学科1年の村松実可子さんにインタビューさせていただきました。活動のきっかけは、色々な人に塩尻の野菜を楽しんでもらいつつ、生産者の方と関わる事で地域の活性化になればいいなと思ったからだそうです。今年度の新鮮☆ゆめ市場は、松本市のカタクラモールにある「松本大学ゆめひろば」で行われていました。この新鮮☆ゆめ市場は、もともと塩尻の小坂田で行われていたのですが、そこの売れ行きがあまり良くなかったので場所を変えて、カタクラモールのゆめひろばで実験的に行なったところ、松本の方たちにとっても好評だったので続けようということになり、今に至るそうです。



メンバー構成は、観光ホスピタリティ学科の学生で、最初は数人で活動していたそうなのですが、メンバーが友達を呼んで徐々に増え、今は10人くらいで活動しているそうです。今年度の活動は月に2回、第1・第3土曜日の10時30分から12時くらいまでで、塩尻の生産者の方が朝採りした野菜を運んで来て一緒に販売しているそうです。その他、高綱中学校の生徒さん達が作った野菜や自立支援事業所の方々による手作り豆腐の販売も行なったそうです。

やっていて楽しいことは、珍しい野菜などがあって、調理方法が分からない場合は農家の方に色々教えてもらったり、一人暮らしのメンバーは、家に持って帰ってつくってみたりすることだそうです。

最後に一言ですが、「12月4日で一旦野菜市が終わってしまったのですが、今年は5月の終わりくらいからまた始まるので、他学生の人にも是非是非、来てもらいたいです！」とのことでした！ありがとうございました！（下坂）

## 聞こえないって何だろう？

12月3日、松本カタクラモール「ゆめひろば」にて「聞こえないって何だろう？」というイベントが開催されました。主催は手話学習・交流プロジェクト「Sign」。「Sign」のメンバーである観光ホスピタリティ学科3年の北原保奈美さんに今回初めて行われたイベントについて、お話を伺いました。

「Sign」は聴覚障がい者を理解し、さらに、地域の人たちと聴覚障がい者の方がお互い理解しあい、コミュニケーションを取り合える場所を設けたいという思いから活動しているプロジェクトです。

今回は「聞こえないって何だろう？」というイベントを開催し、参加者に聞こえないとはどういうことなのか、実際に体験してもらいました。メインの体験では参加者をグループ分けし、各グループの一人の方に耳栓と耳あてをしてもらい、何も聞こえない状態で、メンバーが考えたミッションを行っていました。「Sign」で初めて行われたイベントにも関わらず、たくさんの人が参加してくださり、高校生も多く参加してくれました。北原さんは、参加者が体験を通して聴覚障がい者の人達はどれほど大変で、いつも色々なところにアンテナを張っていないといけないことを理解してくれたことに手ごたえを感じたそうです。また、聴覚障がい者の方はどんなことに困っているのかを、イベントを行うことによって少しでも発信できたことに達成感を感じていました。

今回のイベントに参加したエクセラン高校福祉課の下地恒愛さんは、「先生から今回の企画が聞こえないということに関するイベントだと聞き、聴覚障がい者への理解を深めたい」と思い参加したそうです。「実際に自分がジェスチャー伝言ゲームで全く耳が聞こえない状態になった時、聴覚障がい者の身体の状態を実感することができ、今後に活かしていきたい」と話してくれました。

今まで知らなかった聴覚障がい者の方たちの日常を理解する良い機会になりました。このようなイベントを企画し、聴覚障がい者がどれくらい大変なのか、たくさんの人に伝えていくことはとても大切で重要だと思います。

素晴らしい活動をしている「Sign」の皆さんとコミュニケーションの手段として手話を一緒に覚えませんか？

(大輪)



## 考房『ゆめ』新年会



昨年初めて開催された考房『ゆめ』の新年会。今年は1月13日に開催されました。昨年は勝手にわからない、学生がどれくらい参加するか不安という理由から企画・準備などは学生スタッフが全て行いました。しかし、今年の新年会は『各プロジェクト参加型』企画としました。そうすることで、プロジェクトリーダーや参加する学生一人ひとりが責任感を養うことを目指しました。そして、学生にもっと楽しんでもらうため、交流を深めてもらうために、考房『ゆめ』に関わる全ての方が協力し合い、一つの企画を作り上げていくことになりました。

新年会当日は、各プロジェクトが企画した出し物が行われました。「Sign」のジェスチャーゲームや「松風連」の太鼓の演奏など、普段の活動内容を取り入れた出し物や、ビンゴゲーム、イントロクイズなど、参加した学生全員が楽しめるゲームを企画した「新鮮☆ゆめ市場」や「かえるまつり」などのプロジェクトもありました。

参加した学生たちにとって、普段関わりのない人と話すことができたり、関わったことがある人とも交流が深まったので、非常に有意義な時間になったようです。とても盛り上がり、楽しい時間と素晴らしい達成感を仲間と共有し、たくさんの笑顔を見ることができた新年会でした。

各プロジェクトが責任を持って、出し物の企画・発表まででき、多くの学生が楽しむことができたことで、目的がきちんと達成され、新年会は大成功となりました。スケジュール通りに進まなかった等の問題もありましたが、「来年もやりたい」「続けていくべき」という意見が多く、新年会は毎年恒例になりそうです。学生のやる気があれば、問題点も回を重ねていくにつれ解決していきけるのではないのでしょうか。たくさんの人と出会い、交流を深めることができる大切な行事になっていくのではと思います。(岩垂)

## 学生リーダー研修会

地域づくり考房『ゆめ』では、来年度に向けて学生プロジェクトの新旧リーダーと考房『ゆめ』学生スタッフ等が参加する研修会を下記の通り企画しています。

【日時】3月20日(日)

【内容】●ワークショップ(問題点等を出し合い、改善策を考える。)

●福島先生による講義

なお、研修会終了後には交流会や卒業する学生の送別会を予定しています。





# 地域づくりサミット開催

— つながる・発信する —

2010年度をふりかえるとともに、大学と地域のみなさんの力を合わせた地域づくりをさらに発展させていくことを目指したサミットです。

- 日時：2011年3月9日（水） 12:30~16:30
- 場所：松本大学 5号館（512教室ほか）
- 内容：☆地域づくり活動パネルディスカッション
  - ・地域づくりコーディネーター認定活動
  - ・地域づくり学生チャレンジ奨励制度対象活動
  - ・地域との協働・共創活動 等

☆みんなでつくろう「地域づくり宣言 2011」

☆NPO・市民活動団体などのパネル展示

※詳細は決まり次第、地域づくり考房『ゆめ』のホームページに掲載します



どなたでもお気軽にご参加ください!!

## Information

### ● 学生プロジェクト活動紹介

日時：1月21日~30日

場所：ジャスコ南松本店

内容：フリーマーケットの会場にて、地域づくり考房『ゆめ』の学生プロジェクトの掲示による活動紹介を行ないます。

### ● ニットカフェ

日時：2月27日（日）10:00~15:00

場所：上高地線新村駅 保存電車内

内容：簡単マフラーを制作予定。

参加料：300円

### ● 鉄道まつり

日時：3月20日（日）

場所：上高地線新村駅

内容：鉄道に関する催しを行ないます。

### ● おさがり交換会

日時：3月

場所：松本大学ゆめひろば

内容：いらなくなったベビー用品やおもちゃなどを交換予定。

## 地域づくり考房『ゆめ』の 新キャラクター決定!

キャラクターを公募したところ、学内外から11件の応募があり投票の結果、松本大学の卒業生でもある隠居綾さんにご考案いただいた「こう坊」が新キャラクターに決まりました。

「悪い夢を食べて良い夢を」をコンセプトにバクをイメージしたキャラクターで、よく見える眼をもち、芽をイメージした耳と夢をイメージした服をまとっています。これから活躍の場を広げていく、「こう坊」をよろしくお祈いします。

新しいキャラクターを決めていくうえで、多くの方に参加していただき、本当にありがとうございました。



こう坊



この2年間を振り返ってみると、こども広場発足1年目は先輩たちの中に入り、自分の意見を言うことで精一杯でした。2年目は保険と会計をさせてもらい慣れないことばかりでした。この他にも33(ミミ)代わりプロジェクトでパソコン要約筆記の必要性を学び、多くの人と関わり、繋がりを持つことができました。

考房『ゆめ』の活動をはじめ、様々な人と出会い、学び、挑戦したことで今の自分があります。春から社会人として、また一步一步成長できるように頑張っていきたいです。 松商短期大学部2年 草間 可南子

お問い合わせ、ご意見、ご質問、ご感想等  
ありましたら下記へご連絡下さい。



松本大学 地域づくり考房『ゆめ』

〒390-1295 長野県松本市新村 2095-1

Tel : 0263-48-7213(直通)

Fax : 0263-48-7216(直通)

E-mail : community@matsu.ac.jp